

## 76. ラジアン

- (1)  $\frac{\pi}{6}$       (2)  $-\frac{2}{3}\pi$       (3)  $\frac{3}{2}\pi$       (4)  $\frac{\pi}{180}$       (5)  $\frac{\pi}{180}$
- (6)  $360^\circ$       (7)  $45^\circ$       (8)  $105^\circ$       (9)  $288^\circ$       (10)  $\left(\frac{180}{\pi}\right)^\circ$

度数法は弧度法，弧度法は度数法に直せ。

(1)  $30^\circ$        $180^\circ = \pi$  (rad) であるから  $\frac{30}{180}\pi = \frac{\pi}{6}$

(2)  $-120^\circ$        $\frac{-120}{180}\pi = -\frac{2}{3}\pi$

(3)  $270^\circ$        $\frac{270}{180}\pi = \frac{3}{2}\pi$

(4)  $72^\circ$        $\frac{72}{180}\pi = \frac{2}{5}\pi$

(5)  $1^\circ$        $\frac{1}{180}\pi = \frac{\pi}{180}$

(6)  $2\pi$        $2 \times 180^\circ = 360^\circ$

(7)  $\frac{\pi}{4}$        $\frac{180^\circ}{4} = 45^\circ$

(8)  $\frac{7}{12}\pi$        $\frac{7}{12} \times 180^\circ = 105^\circ$

(9)  $\frac{8}{5}\pi$        $\frac{8}{5} \times 180^\circ = 288^\circ$

(10) 1       $1 : x = \pi : 180^\circ$  より  $x = \left(\frac{180}{\pi}\right)^\circ$



<度数法 → 弧度法>

180で割って $\pi$ をつけます ( $\frac{\pi}{180}$  をかけると考えてもよいでしょう)。

<弧度法 → 度数法>

$\pi = 180^\circ$  を代入します。

弧度法ではほとんどの場合 $\pi$ がついているのでこれで対応できると思いますが、

$\pi$ がついていない弧度法表記の場合には、 $\frac{180^\circ}{\pi}$  をかければよいです。

忘れてしまったら定義に戻って考えましょう。